

多文化関係学会 2020 年度 臨時理事会議事録

日時：2020 年 4 月 13 日（月）13 時 30 分～15 時 30 分

場所：オンライン開催（ZOOM）

出席者：小林、田中、湊、岡村、馬場、小坂、畠中、金本、田崎、河野、江藤、内藤、出口
（敬称略、順不同）

欠席者：武田、松井、宇治谷、岡村（委任状あり）

議事次第

1. 審議事項

(1) 2020 年度第 19 回大会について

- 2020 年度は 10 月に近畿大学で開催予定であったが、現在新型コロナウイルス感染症拡大の影響で開催校の学事暦が大幅に変更され、後期にも影響する可能性が大きい。加えて 10 月には資格試験やイベント等が入る可能性もあるため、会場を借りられるめどがない。
- そのため、4 月 4 日に大会準備委員会がオンラインでの開催に関する提案書を執行部に提出。本提案や他学会の動向を基に、大会開催のあり方について議論を行った。
- オンラインで大会を開催する場合の懸念、大会を中止・延期した場合の問題点について検討、議論した結果、現時点では次の通り決定する。
 - ・ 例年通りの会場校での開催は取り止め、オンライン開催の可能性を検討する。開催の可否については、緊急事態宣言等の動向を見て、次回理事会であらためて検討する。
 - ・ 大会内容は一般研究発表と総会に限定する。
 - ・ 以上について、学会サイトおよび会員へのメールで告知する。文面は準備委員会が検討する。
 - ・ オンラインで大会を開催する場合に研究発表を行う意思があるかどうか、オンラインで大会に参加する場合にどのような障害があるかについて、準備委員会が web 上でのアンケートフォームを作成し、会員の意見を募る。

(2) 決算書の承認時期について

- 外出自粛や大学による出張禁止等が続いた場合、5 月に臨時総会の開催が行えなくなる。そのため、決算書の承認について、秋の総会まで延期する。
- ただし、必要な支出を行うには、予算案を早急に作成して成立させる必要がある。このことから、財務委員長に仮案となる場合も含め、予算案策定が 5 月中に可能かを問い合わせる。
- 予算案については、臨時総会が不可能なことから、次回理事会にて審議、承認を経て成

立する特例措置を講じる。

(3) 事務局後任について

- 田中先生の公認候補として、石井英里子准教授（鹿児島県立短大）に今年度から事務局業務に携わっていただく。

2. 報告事項

(1) 2020 年度学会誌編集委員会メンバーについて

- 金本編集委員長より、2020 年度学会誌編集委員会メンバーについて報告があった。

以上